

高視認性安全服が交通事故から守る 国内初の子ども・生徒向け規格制定

日本交通安全教育普及協会 制定

◎ 規格 No. JATRAS 001:2016
児童向け高視認性安全服

◎ 規格 No. JATRAS 002:2016
自転車通学者用向け高視認性安全服

指定試験機関

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

本日 2016 年 12 月 15 日、一般財団法人日本交通安全教育普及協会（JATRAS）は、【規格 No. JATRAS 001:2016 児童向け高視認性安全服】及び、【規格 No. JATRAS 002:2016 自転車通学者用向け高視認性安全服】の2規格を正式に制定しました。

規格の大きな特徴は

- ・子どもサイズに対応している
- ・夏場の熱中症対策にメッシュ生地が使える
- ・再帰性反射材が帯状でなくてもよい
- ・色数が8色となっている …

など、色数が増えたことや再帰性反射材の形状が帯状にはこだわらなくてよくなったのでデザイン性に広がりを持たせることができるようになりました

当財団は高視認性安全服の普及にあたり、先行して昨年制定された作業者向けの JIS T 8127 と同様、児童向け及び通学者向けにも普及促進に力を注ぎ、交通事故から子ども・生徒を守ります。さらに、ドライバーを加害者にしないという JATRAS が掲げる目的に協力してまいります。

指定試験機関として、規格に定められた試験に全て対応できますので、お気軽にお問合せください。



新規格に適合するよう当財団が試作した児童向け高視認性安全服。たしかに、夜間はものすごく目立つ

■防災・安全評価グループ 東京

〒124-0012 東京都葛飾区立石 4-2-8 Tel: 03-5875-6055 / bosai_zen@nissenken.or.jp

■防災・安全評価グループ 大阪

〒535-0022 大阪府大阪市旭区新森 1-5-20 Tel: 06-6957-1101 / bosai_zen@nissenken.or.jp

児童向け高視認性安全服の規格に適合した**試作品 part 2**です。エコダックスの足跡や彼（彼女？）が大好きな骨をあしらってみました。色・デザイン共にかかなりの自由度がきき、組み合わせによって高いファッション性を出すのも十分可能です。



子ども・生徒を守るのは社会の責任 ～ 日本の意識はまだ遅れてる?? ～

日本では JIS T 8127 高視認性安全服の規格が 2015 年 10 月に制定され、注目を集めている状況にありますが、この規格はもともと道路作業従事者や鉄道保安全管理者を対象としています。そのため、子どもや高齢者向けの商品が規格に合わないものとなっています。一方ヨーロッパ諸国では、児童は通学や遠足などで外出する際に安全規格である【EN 1150】に適合した反射ベストを着用しています(写真)。また、前述した日本の JIS T 8127 は【ISO 20471】に準じて制定されたものです。正直、日本は衣料分野での交通安全に対する取組が遅れていると言わざるをえません。日本でも、子どもや高齢者の交通事故が多発していることを考えれば、一般向けの高視認性安全服規格の制定が早急に望まれていたところでした。そのような中、今回、交通事故の減少を常に考えている一般財団法人日本交通安全教育普及協会が独自の団体規格を制定したことは、日本社会において、とても意義深いことです。子ども・生徒を守るのは社会の責任。そういう考え方がまた1つ、日本に根付くきっかけになったのではないのでしょうか。

